

## 令和6年度第1回静岡県立中央図書館協議会議事録（要旨）

1 日 時 令和6年6月14日（金）午後1時30分から午後4時まで

2 会 場 静岡県立中央図書館 3階中集会室  
静岡県駿河区谷田53番1号 電話番号054-262-1242

### 3 出席者

#### （委員）

委員 轟木堅一郎  
委員 鈴木 千明  
委員 庄田 達哉  
委員 鈴木 真澄  
委員 服部祐三子  
委員 平松 栞  
委員 山崎 克巳  
委員 吉見光太郎

#### （図書館）

|             |       |
|-------------|-------|
| 館長          | 高橋 健二 |
| 副館長兼総務課長    | 山内小百合 |
| 総務班長        | 田中 理一 |
| 企画振興課長      | 田辺 章  |
| 企画班長        | 青木 修  |
| 資料課長        | 木村 知美 |
| 調査課長        | 鈴木 由美 |
| 教育主査        | 尾上 容子 |
| 新図書館整備課     | 高田 和明 |
| 課長代理兼運営企画班長 |       |

### 4 内 容

- (1) 開会
- (2) 館長挨拶
- (3) 会長挨拶
- (4) 副会長選出
- (5) 議事

ア 県立中央図書館の状況及び令和6年度主要施策について

館長が資料にそって説明

イ 令和6年度各班等重点取組について

各課担当が資料にそって説明

【質疑応答・意見交換】

|       |                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (委員長) | 企画振興課企画班の重点取組「電算システムの円滑かつ適切な更新」について、次期契約の落札業者は決まっているか。                                                                                                                                                                      |
| (図書館) | 6月12日に落札業者は決まっている。入札結果は近日中に公開する。                                                                                                                                                                                            |
| (委員)  | 当館でも今年電算システムの更新を控えている。県の更新期間は5年間か。                                                                                                                                                                                          |
| (図書館) | 基本は5年に1回であるが、予算の状況で1年再リースで延長することはある。                                                                                                                                                                                        |
| (委員)  | <p>企画振興課振興班の重点取組「障害がある方に向けた図書館大会の広報の充実」について、最初から図書館大会のことを広報しても内容が伝わらないではないか。</p> <p>まずは障害を持った方を館内見学のような形で招待し、その中で図書館大会を知っていただくと同時に、障害者サービスのニーズを把握してくというのはいかがでしょうか。</p> <p>広報だけではなく、図書館職員が障害がある方たちに手助けできるといことをアピールできないか。</p> |
| (図書館) | 現図書館はバリアフリーが行き届いていないため、障害がある方を招待するのは難しいが、今年の2月に行った健康医療の講演会では、視覚障害者支援センターを通じて参加された視覚障害者の方から感想をいただいている。これらの声を今後の大会運営に生かしていきたい。                                                                                                |
| (委員)  | 「全体会、第3分科会においては視覚や聴覚に障害がある方を対象に要約筆記、手話通訳、磁気ループの対応が可能」とあるが、障害を持った方が他の分科会を希望した場合はどうするか。                                                                                                                                       |

|       |                                                                                                                                                                                                    |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (図書館) | <p>全ての分科会でこうしたサービスを提供するのは難しいため参加者の多い分科会でサービスを提供している。参加者には、応募時に提供可能な会場を事前にお知らせしている。</p>                                                                                                             |
| (委員)  | <p>現状の対応は、厳しい言い方であるが、配慮しているようで配慮がされていない。結局、当事者にとっては、限られた分科会から選択しなければならないことになる。</p> <p>合理的配慮ということであれば、事前の受付で希望する分科会を把握し、その会場に必要な配慮を講じていただきたい。それが法律で決められている合理的配慮であり、公的機関としては絶対にそうしたことは欠かしてはならない。</p> |
| (図書館) | <p>説明が不足していたが、事前の申し込みで希望の分科会をお伝えいただければ、その分科会で対応することは可能である。</p>                                                                                                                                     |
| (委員)  | <p>調査課一般調査班の重点取組「地域学習に役立つ図書リストの改訂」について、県内学校の周知とは具体的にどのような方法で行うか。</p>                                                                                                                               |
| (図書館) | <p>県教育委員会からメール等でお伝えしている。</p>                                                                                                                                                                       |
| (委員)  | <p>周知というのが、単に「こういうものがありますよ」だけでは流れてしまうのでは。実際にリストを使った調査方法等、使い方を学ぶ機会があれば、次に何か調査したいという時に、小中高生が自発的に活用することができるのではないか。</p>                                                                                |
| (図書館) | <p>現在、1人1台PCの配備も進んでいる。御提案の内容については持ち帰って検討したい。</p>                                                                                                                                                   |
| (委員長) | <p>「地域学習に役立つ図書リスト」は、小学校低学年用、中学年用、中学生用等の段階に分かれているものか。</p>                                                                                                                                           |
| (図書館) | <p>段階別ではなく、分野毎に分かれている。例えば、「人物について」など、テーマごとに分冊になっているものもある。</p>                                                                                                                                      |

|       |                                                                                                                                                                                          |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (委員長) | こうしたリストがあることが例えば学童クラブ?のような子どもが集まっている場所にも伝わっているか。                                                                                                                                         |
| (図書館) | 各学校がその先にどこまで案内をしているかについては把握していない。                                                                                                                                                        |
| (委員)  | <p>資料課図書班の重点取組「新刊児童書巡回貸出事業の試行による市立図書館等の児童書選書支援の実施」について、「令和7年度の事業実施に向けて意見聴取、課題の洗い出しを行い、事業内容の詳細を決定し、予算要求につなげる」というのは素晴らしい。是非頑張ってください。</p> <p>また、「近隣の図書館関係者も閲覧できる仕組みを作る」とあるが、具体的な構想はあるか。</p> |
| (図書館) | 現在、袋井市立図書館に貸し出すための準備を行っている。近隣の市町教育委員会に対し本事業について通知し、各教育委員会から所管の学校への周知を依頼している。ここから先は試行錯誤しながら進めていく。                                                                                         |
| (委員)  | 「協力館が得られるかが課題」とあるのが気になった。                                                                                                                                                                |
| (図書館) | 本事業を受ける図書館にとって負担になってしまつては、協力館が広がっていかない。今回引き受けていただいた袋井市立図書館と意見交換しながら、当館と市町立図書館の双方にとって負担が少ない方法を検討したい。                                                                                      |
| (委員)  | 先日、磐田市立富士見小学校の図書室でボランティアの作業を行っていた際に、学校司書が本事業について教えてくれた。巡回貸出の期間はどれくらいか。                                                                                                                   |
| (図書館) | 1か月としている。                                                                                                                                                                                |
| (委員)  | 磐田市内の学校司書の場合、複数校を掛け持ちしていることもある。1か月という期間があればやりくりして行くことがで                                                                                                                                  |

|       |                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>きるので安心した。</p> <p>15年以上前、富士見小学校で教科書関連の図書を会議室に展示したことがある。その時、どういう本が良いか選んだことがあり、勉強になった。</p> <p>子どもたちに接する学校司書が実際に目で見えて確かめることは司書としてのスキルアップにつながり、それが子どもたちの読書活動のレベルアップにつながる。司書への研修等には引き続き力を入れていただきたい。</p>                             |
| (図書館) | <p>当館としても、本事業の周知については御助言をいただきたいと思っていたので、委員から学校現場に周知されていることを伺い安心した。</p>                                                                                                                                                           |
| (委員長) | <p>巡回貸出の資料は、利用者に貸出はできなくても、貸出先の図書館で人目にふれやすいような工夫をすると良いと思う。</p> <p>その上で、例えば、図書館職員等が自宅で読むことができるよう、短期間で貸出しするようなことは制度上難しいか。</p>                                                                                                       |
| (図書館) | <p>本事業では、中央図書館に来館しなければ閲覧することができない資料群を多くの方に見ていただくことを目的としてスタートしている。また、子ども図書研究室の資料は、来館しても15歳以上でないと見ることができない。</p> <p>当館として、子どもたちに届けたい資料はどんぐりひろばに配架している。今回、巡回貸出する資料は、全ての児童書であり、内容的には玉石混交である。そうしたことを前提に、先生方や図書館職員に見比べてもらえればと考えている。</p> |
| (委員長) | <p>資料の配送方法は。</p>                                                                                                                                                                                                                 |
| (図書館) | <p>宅配業者に依頼する予定である。</p>                                                                                                                                                                                                           |
| (委員長) | <p>本を作っている立場から、調査課の非常に地道な資料収集や保存の努力はありがたく、貴重な仕事だと思っている。</p> <p>最近、大河ドラマで静岡が取り上げられることが多く、本を作っている立場の感覚として、歴史愛好家が増えているような</p>                                                                                                       |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>印象を持っている。また、そうした方々の多くは戦国時代以降から入っていく傾向がある。</p> <p>その中でも、近代史に関する資料は今なら残すことができるが、価値がわかる人がいなければ次第に失われていく。県立図書館には、資料の保存や調査に関する取組の内容や目的を広く周知していただきたい。</p> <p>我々メディアとしても広報の機会について考えていく。教育文化庁という教育系の記事の担当部署があるので、どのタイミングで取り上げることができるかはわからないが、粘り強くプレスリリースを出していただきたい。</p> <p>昨年、直木賞を受賞された永井紗邪子先生は島田市で講演を行った際に会場近くの図書館を案内され、資料を見て大変喜んでおられた。おそらく歴史小説の作家等は、歴史文化情報センターを見学する機会があれば喜ぶと思うし、イベントとして話題になる。</p> <p>調査課歴史文化情報センターの重点取組として「県史編さん収集資料の広報」の方向性に「県内博物館・学術団体・関係機関との連携」とあるが、マスコミや歴史に興味がある方全般ともコミュニケーションを取っていただければと思う。</p> |
| (図書館) | 是非、プレスリリースさせていただきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| (委員)  | <p>静岡書店大賞については、皆様に多大な御協力をいただきこの場を借りてお礼を申し上げます。</p> <p>書店は民間企業であり、できるだけ多くのお客様に来ていただきたいと思っているが、昨今の書店を取り巻く状況は大変厳しいものがある。コロナ禍で自宅にいる時間が長い期間は読書をする方が増えたこともあったが、昨年5月にコロナが2類から5類に移行し、旅行等の外出の機会が増えたことで、更に厳しい状況になっている。</p> <p>中央図書館は、来館者数や貸出冊数は、ここ数年どのような状況か。また、数値目標は設定されているか。</p> <p>あわせて、東京都の町田市では、図書館で借りた本を書店で返すことができるようになっている。このような書店との連携についてどう考えるか。</p>                                                                                                                                                                |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>デジタル化が進み、小中学校の頃からデジタル資料ばかりになってしまうと、公共図書館もデジタル図書館で良いのではなくなってしまう。紙の本をめくる習慣が無くなってしまうと、日本の文化も失われてしまうと考える。書店と図書館が一体となって紙の本を残すことも大切にしていきたい。</p> <p>文科省でも教科書のデジタル化に向けた有識者会議を行っているが、デジタルありきの会議になってしまっている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| (図書館) | <p>令和5年度の入館者数は152,009人で、前年比で3,000人ほど増加している。入館者数の数値目標は定めていない。「県民の公立図書館利用登録率」のような、県全体での数値目標を掲げている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| (図書館) | <p>入館者数の推移について、平成20年代は年間20万人台、コロナ禍等で減っていたが、徐々に回復してきている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| (委員)  | <p>書店の厳しい状況に関連しての要望であるが、今、自民党で「書店議連」という斎藤経産相を幹事長とした、官民連携で書店振興を図ろうというプロジェクトがある。</p> <p>もはや自助努力で書店を復活させることは無理である。現状では、全国で年間400店以上が閉店し、既に5,000店を割っているため、このままでは10年後には書店は無くなってしまう。</p> <p>加えて、最近の電気料や家賃の値上がりで家賃の更新のたびに閉店する書店も多い。新規参入も無く、自分の子どもに事業承継も出来ない。特に地方の書店が運送費等の問題でより厳しい状況にある。これは明らかに国家の危機だと思う。</p> <p>そういった中で、書店議連では図書館と書店の連携を大きく打ち出している。今年の1月、文部科学省から全国の教育委員会の公共図書館担当課に対し、「図書館・書店等連携実践事例集」が出されている。</p> <p>今回の重点取組に関係機関との連携に関する取組はあったが、書店との連携が無かった。まずは書店と図書館がお互いの仕事を知るなど、静岡県でも、そういった取組を御検討いただきたい。既に3分の1弱の市町村には書店が1店もない状況にある。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (図書館) | <p>書店と図書館が活字文化を守っていくために協力しながら歩み寄っていくというのは画期的なことだと思う。私見であるが、直接サービスを担う市町立図書館からスタートし、県立図書館が全体的に統括していくようになればと思っている。</p> <p>一方で、今の段階から県立図書館が市町立図書館に先んじて踏み込んでいくことはどうかと思う。</p>                                       |
| (委員)  | <p>例えば、今後東静岡に移転後に、「図書館で本を借りようと思ったら1か月待ちだから書店で買おう」とか、「絶版で書店で買えない本を図書館で借りよう」といった書誌情報の連携等は出来ると思う。</p> <p>やり方次第ではあるが、東静岡という立地を生かして、市町立図書館をリードしていただきたい。</p>                                                        |
| (図書館) | <p>新図書館に移転後に、モデル事業的な位置付けで先進的な取組をスタートすることは非常に良いことだと思う。</p>                                                                                                                                                     |
| (図書館) | <p>先程紹介のあった町田市の「図書館の本を書店で返せる」というサービスは、便利なので整備課でも話題になり調べたところ、同じ指定管理者が運営する書店と図書館の連携で、指定管理者の提案で始まったサービスとのことであった。</p> <p>中央図書館では数年前にブックフェスタ静岡という取組を行っているが、文字・活字文化振興法の趣旨も踏まえて、こうした書店との連携は新図書館でもいかしていければと考えている。</p> |
| (委員長) | <p>本日予定していた全ての議事は終了したが、その他御意見等ありましたらお願いします。</p>                                                                                                                                                               |
| (委員)  | <p>どんぐりひろばの展示が素晴らしかった。1匹1匹のメダカが本当に泳いでいるようで、お子さんを連れていた若いお母さんも「本当に泳いでいるようですね」と感動していた。</p> <p>カウンターの職員の方に作者の本田彰さんについて教えていただき、本田彰さんの著書を借りることができた。こうした思いがけないことが大変嬉しかった。</p>                                        |

|              |                                                                                                                                                                                                     |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(図書館)</p> | <p>お配りした葵の1ページ目にserendipityについての記載がある。デジタルの場合、検索して広がるような気はするが、結局その先にあるのはA I が検索者の意向に合わせるため、バブルに囲まれているような面がある。</p> <p>先程の副委員長お話のような絵から本に繋がるという出会いは、アナログの世界にしかない。こうした良い部分をもっと若い世代にも打ち出して頑張っていきたい。</p> |
| <p>(委員)</p>  | <p>書店と図書館の役割はそこにある。デジタルだけに頼って、自分の興味があるものだけにとどまっていたら、多様な考えを受け入れるような人間になれない。</p>                                                                                                                      |